

学校長あいさつ

本校は、太田市のシンボルである金山（かなやま）の西麓に位置し、学区には「ぐんまこどもの国」があります。周囲は田畑が広がるとともに、桜並木で知られる八瀬川がそばを流れ、鳥之郷（とりのごう）という地名に由来する鳥の郷（さと）として、様々な野鳥を目にすることができる自然豊かな環境です。

明治6年の開校から数え、昨年度150年を迎えた歴史と伝統のある本校は、令和6年度、新たな歴史の創生に向けて、151年目を歩み始めました。

現校舎での学びは、平成21年9月1日より、学区変更とともにスタートさせています。この学び舎は、周囲に溶け込むような木材質校舎で、当時から太陽光発電の導入がなされ、自然に優しい、自然との共生を目指した設計です。教室はオープン型で可変性があり、低学年の教室にはワークスペースが設営されているなど、柔軟に多様な学習への対応ができるよう工夫されています。生活の広場としてゴムチップが敷き詰められた中庭もあります。広く長く続く廊下には、学年ごとに図書コーナーがあり、ベンチに座ってのんびりすることもできるなど、居心地のよい空間がちりばめられている素敵な校舎です。

また、昭和40年度より愛鳥モデル校の指定を受け、活動を続けて59年目となります。さらに、平成2年度より食農教育として、稲作や芋づくりも実践しています。読み聞かせ活動も含めて、鳥の子支援隊（地域人材のボランティア）による専門的な力添えをいただき、子どもたちの学びが深まる取組となっています。

今年度は、児童数402名、19学級でスタートしました。子どもたちは、明るく素直で元気いっぱいです。教職員は、歴史と伝統に培われた本校において『不易流行』に努め、充実した施設・設備を一層活用し、学校教育目標である「心身ともに健康で、確かな学力と豊かな人間性を身に付けた、たくましく生きる児童の育成」に尽力してまいります。

また、「豊かな心と健康な身体を育む学校」「確かな学力を育む学校」「信頼され期待に応える学校」であるために、児童主体の教育活動を展開します。全教職員が一丸となって努力し邁進してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のこれまでと変わらぬご理解ご協力を賜れますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年4月1日

校長 委文 弥生

学校教育目標

『心身ともに健康で、確かな学力と豊かな人間性を身に付けた、たくましく生きる児童の育成』

具体目標

- 素直で思いやりのある子 ～相手を尊重してかかわれる子～
- 自ら学びよく考える子 ～自分を主語に表現できる子～
- 健康でねばりづよい子 ～つまずきを糧に頑張る子～

具体的な努力点

1. 豊かな心と健康な体を育む安心・安心な学校づくりに取り組む

- 学習活動における危険予測とその指導、危機管理意識の向上に努めます。
- いじめを生まない、いじめを見逃さない態勢づくりに努めます。

2. 『確かな学力・非認知能力』の調和のとれた児童の育成に取り組む

- 児童と共に相手意識をもち「自らを主語として表現し」学び合いに努めます。
- 研修に力を入れ、児童が『めあて』をもって、「なぜ?」「こうかな?」「なるほど!」を大切に学び、何を身に付けたのかを『振り返る』ことのできる授業づくりに努めます。
- 児童の経験・体験を重視し、自分を取りまく人や事物、事象との関わりを大切にさせます。

3. 信頼され期待に応える学校づくりに取り組む

- 家庭、地域、関係機関と連携し、社会に開かれた教育に努めます。
- 真に必要な教育活動をする学校づくりに取り組むために、学び方・働き方の量と質を見直し、子どもたちのキャリアモデルとなる教職員集団であるよう努めます。